

バリアフリー-2016 で大阪府理学療法士会がブース出展と研修会を開催

～相談件数 167 件・研修会 204 名参加～

社会局局长 羽田晋也 社会局担当理事 鹿山英明

4月21日(木)～23日(土)にインテックス大阪で第22回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展(バリアフリー2016)が開催されました。3日間で来場者数は93,598人で、社会局ではご来場者に向け「リハビリテーション相談」をテーマとしたブース出展と「腰痛予防」をテーマとした介護技術についての研修会を開催しました。相談件数は177件、研修会参加者は204名と多くの方々にご参加頂きました。

この開催にあたり、府士会員の皆様方には多大なるご理解・ご協力を賜り誠に御礼申し上げます。

開催状況は <http://barrierfree.jp/> でご覧頂けます。

「リハビリテーション相談」ブース出展

リハビリテーションに関する相談を行うブースを設け、多くの皆様にご参加いただきました。自主トレーニングの方法や介助方法、リハビリテーションを受けられる施設、制度のことなど多くの相談が寄せられました。ブース内には、府士会で作成した「介護技術講習会テキスト」に基づいた介助方法を紹介するパネルを展示しました。さらに介助方法を具体的に説明するため会場内に治療用ベッドを設置し、実演も行いました。昨年度より介護関係職種や福祉の方からの相談も多くなり、サービスの橋渡しや臨床現場でのより密接な連携の必要性を感じました。このような大きなイベントで多くの方々に高齢者・障がい者の快適な生活を提案することによって、理学療法の専門的な知識及び技術の普及と、啓発をする良い機会になりました。



「腰痛予防」研修会

府士会員の山下 真人氏に、「腰痛予防に役立つ介護技術のノウハウ～寝返り、起き上がり、移乗動作の介護ポイント～」というテーマでご講演頂きました。内容は、腰痛の基礎知識、腰痛予防に着目した身体の使い方や力学的知識、寝返り、起き上がり、移乗動作の介助方法などをお話し頂きました。受付開始から多くの方が来場され、204名もの参加者があり大盛況でした。介助方法を説明する際は、写真や動画を多く取り入れポイントを整理してご説明されており、アンケートでも『非常に解りやすかった。』とのご意見を頂きました。本研修会を通じて、府民の皆様には腰痛を予防できる介護方法を知っていただけ、多くの方に私たち理学療法士の知識と技術を伝達できたと思います。さらに各ブロックでの介護技術講習会を広報する良い機会となりました。来年度も皆様に満足していただけるような研修会を開催できるよう運営に努めてまいります。

